

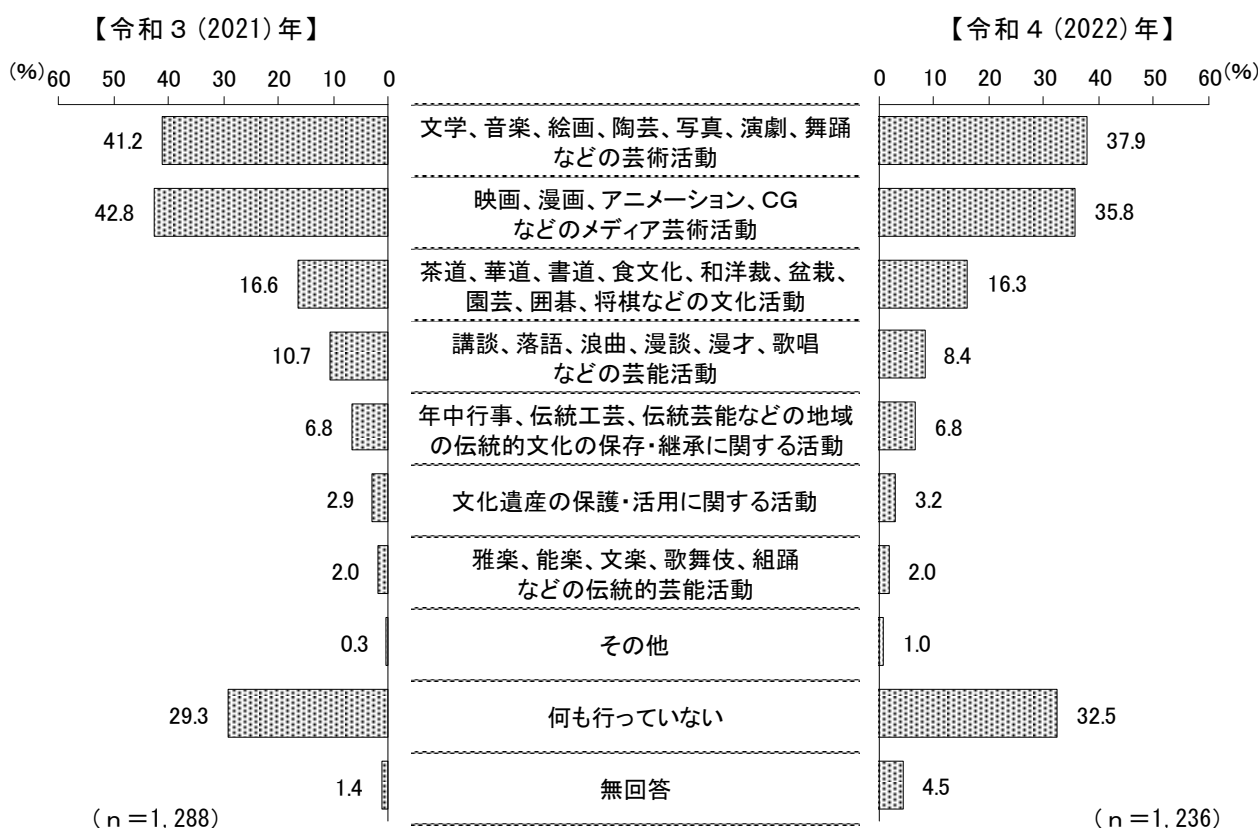
3 日常生活について

(1) 文化・芸術活動について

問7 あなたが日ごろ行っている文化・芸術活動（鑑賞を含む）は、どのようなものですか。
次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,236]

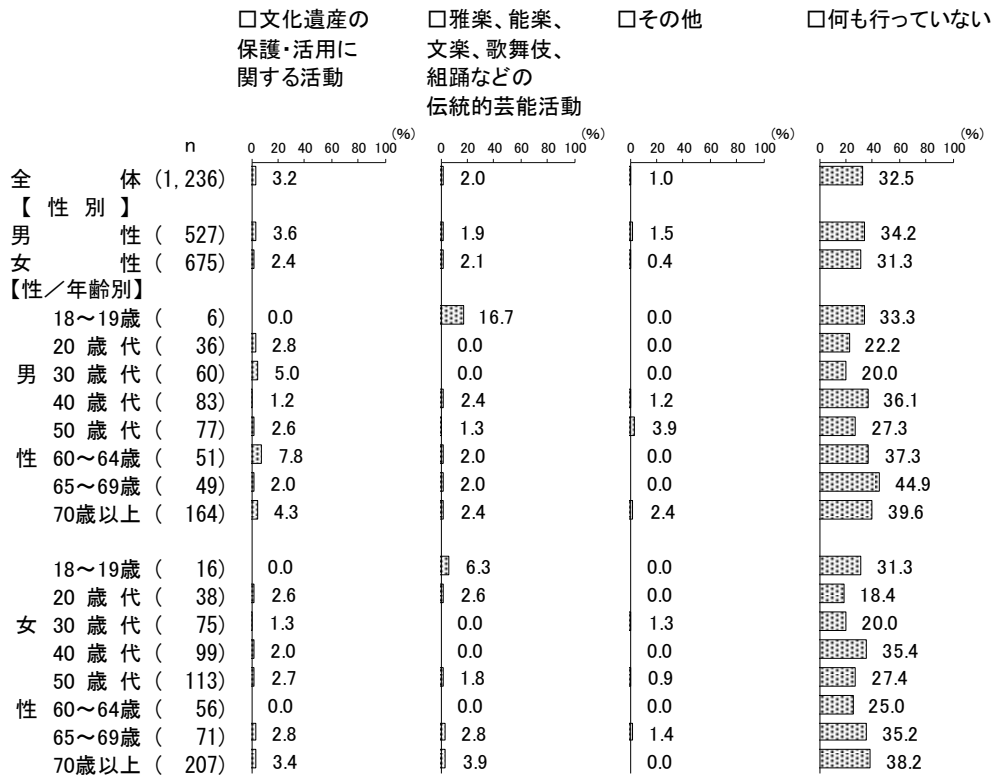
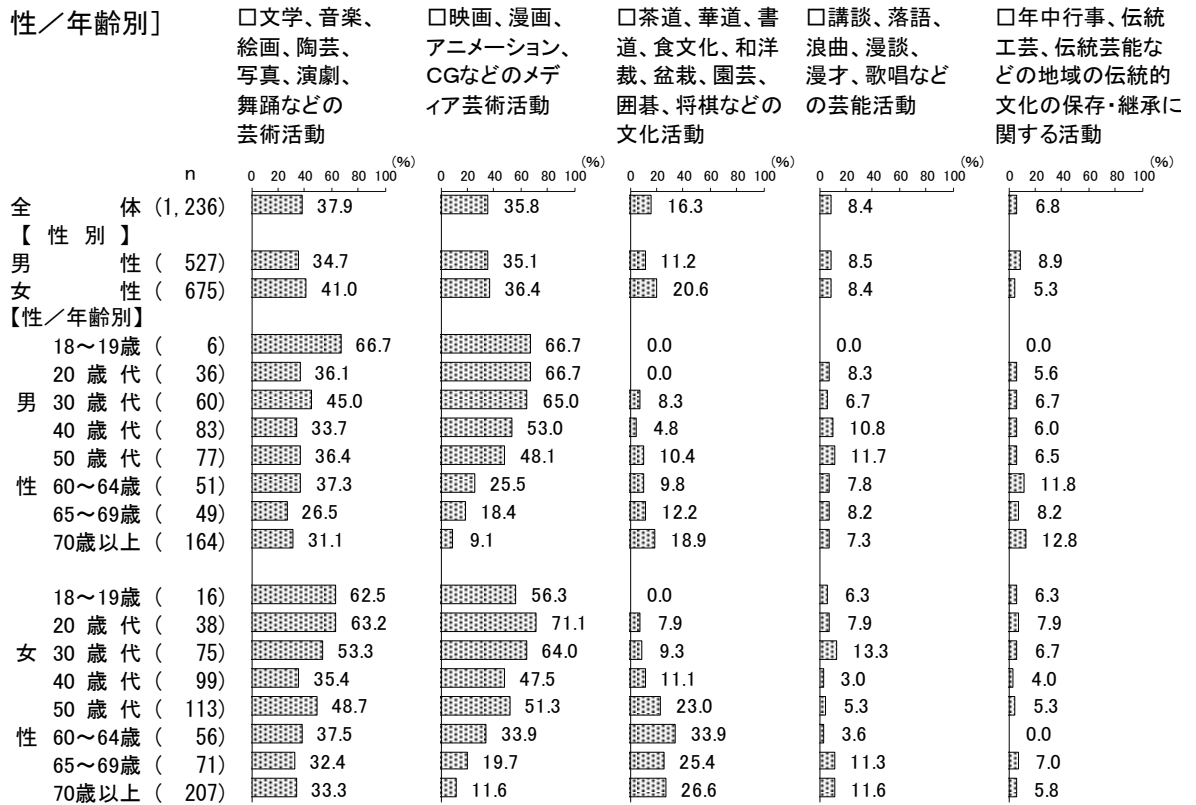
1	文学、音楽、絵画、陶芸、写真、演劇、舞踊などの芸術活動	37.9%
2	映画、漫画、アニメーション、CGなどのメディア芸術活動	35.8
3	雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊などの伝統的芸能活動	2.0
4	講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱などの芸能活動	8.4
5	茶道、華道、書道、食文化、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動	16.3
6	年中行事、伝統工芸、伝統芸能などの地域の伝統的文化的保存・継承に関する活動	6.8
7	文化遺産の保護・活用に関する活動	3.2
8	その他	1.0
9	何も行っていない	32.5
	(無回答)	4.5



全体でみると、「文学、音楽、絵画、陶芸、写真、演劇、舞踊などの芸術活動（以下『芸術活動』という。）」（37.9%）が3割台半ばを超えて最も高く、次いで「映画、漫画、アニメーション、CGなどのメディア芸術活動（以下『メディア芸術活動』という。）」（35.8%）の順となっている。一方、「何も行っていない」（32.5%）が3割強となっている。

前回（令和3(2021)年）の調査結果と比較すると、『メディア芸術活動』が7.0ポイント減少している。

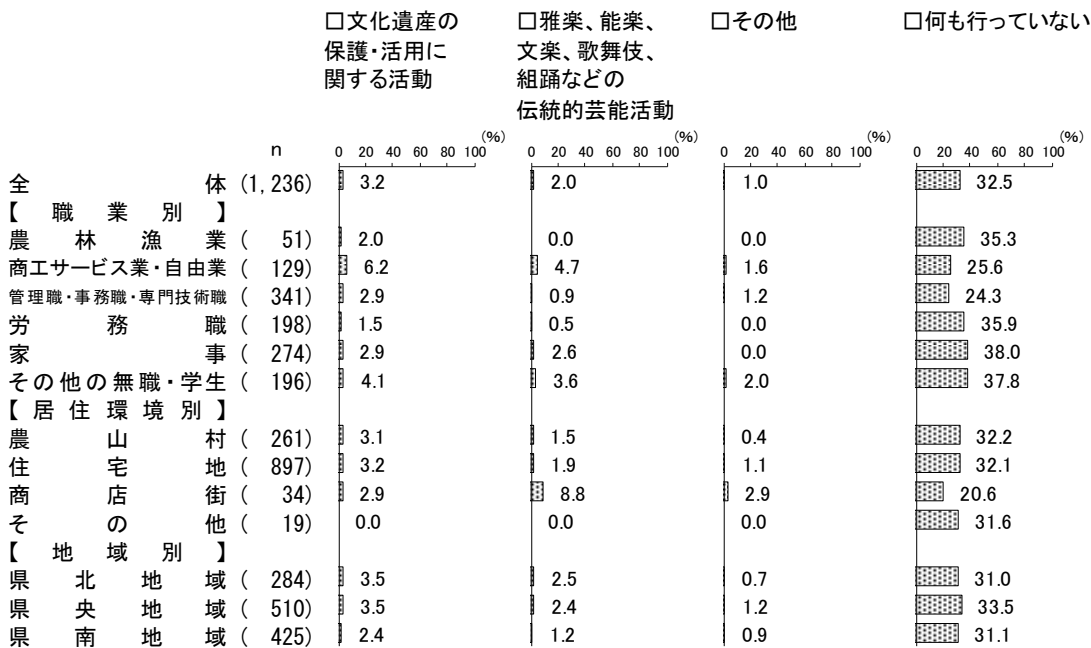
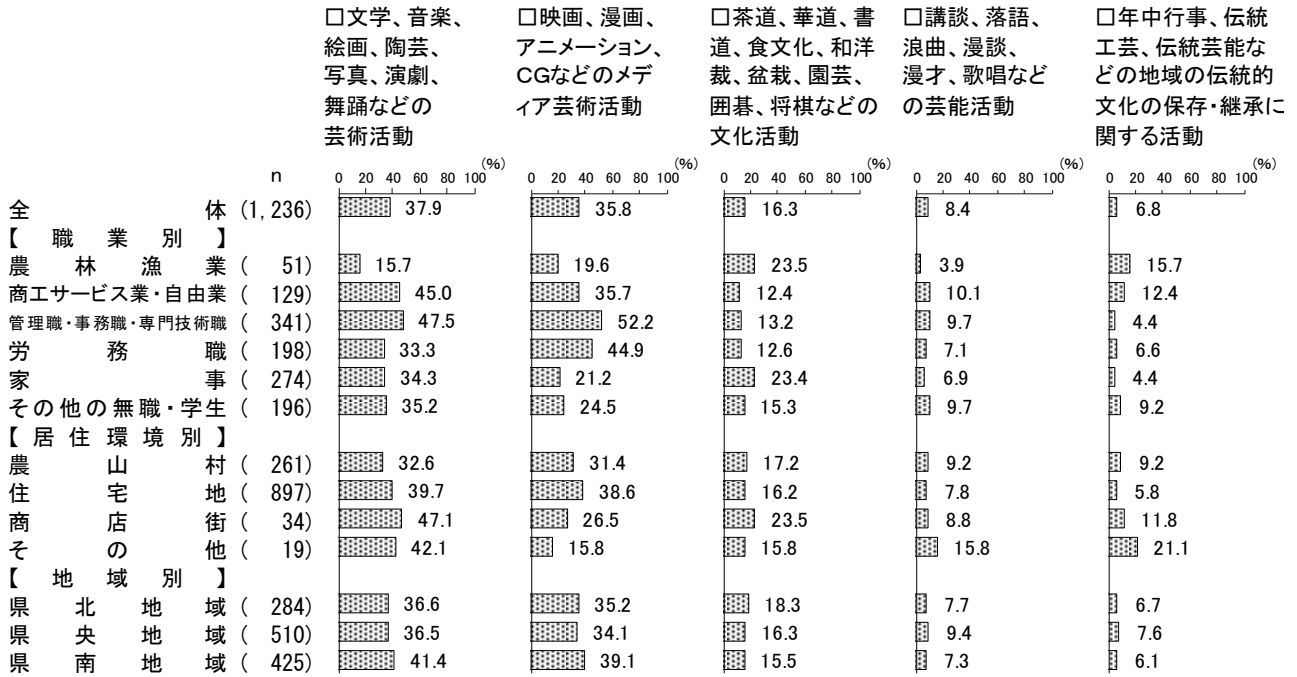
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「茶道、華道、書道、食文化、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動（以下『文化活動』という。）」では〈女性〉（20.6%）が〈男性〉（11.2%）より9.4ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『芸術活動』では〈女性20歳代〉が63.2%と高くなっている。『メディア芸術活動』では〈女性20歳代〉が71.1%、〈男性20歳代〉が66.7%と高くなっている。『文化活動』では〈女性60～64歳〉が33.9%と高くなっている。一方、「何も行っていない」では〈男性65～69歳〉が44.9%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別で見ると、『芸術活動』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が47.5%、〈商工サービス業・自由業〉が45.0%と高くなっている。『メディア芸術活動』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が52.2%と高くなっている。「年中行事、伝統工芸、伝統芸能などの地域の伝統的文化の保存・継承に関する活動」では〈農林漁業〉が15.7%と高くなっている。

居住環境別で見ると、『芸術活動』では〈商店街〉が47.1%と高くなっている。一方、『メディア芸術活動』では〈商店街〉が26.5%と低くなっている。

地域別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

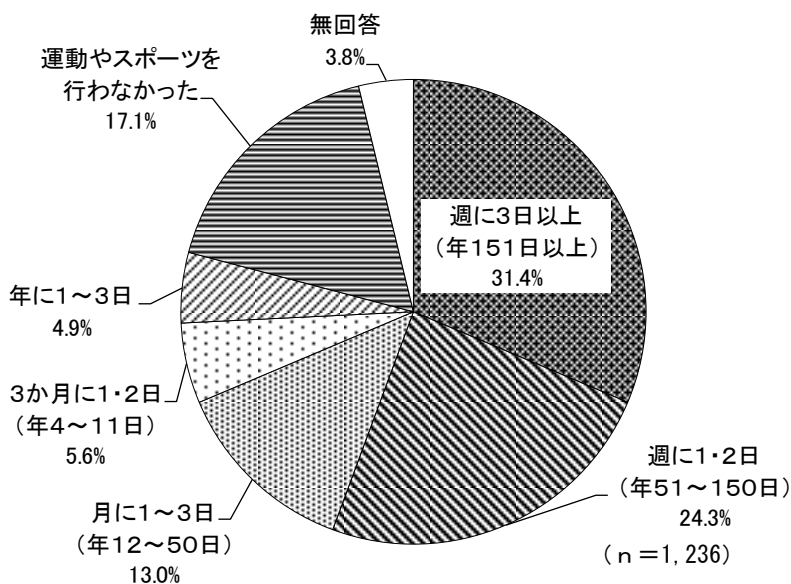
(2) スポーツ活動について

問8 あなたは、この1年間にどの程度運動やスポーツ(※)を行いましたか。次の中から1つ選んでください。

※ 運動やスポーツには、ウォーキング(散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなど)、階段昇降(2アップ3ダウンなど)、ジョギング、水泳、体操(ラジオ体操、エアロビクスなど)、室内運動器具を使ってする運動、レクリエーションスポーツ(フライングディスク、スポーツチャンバラなど)、ゲートボール、登山、ゴルフ、釣り、サイクリングのほか、子どもとの体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすことなどを含みます。

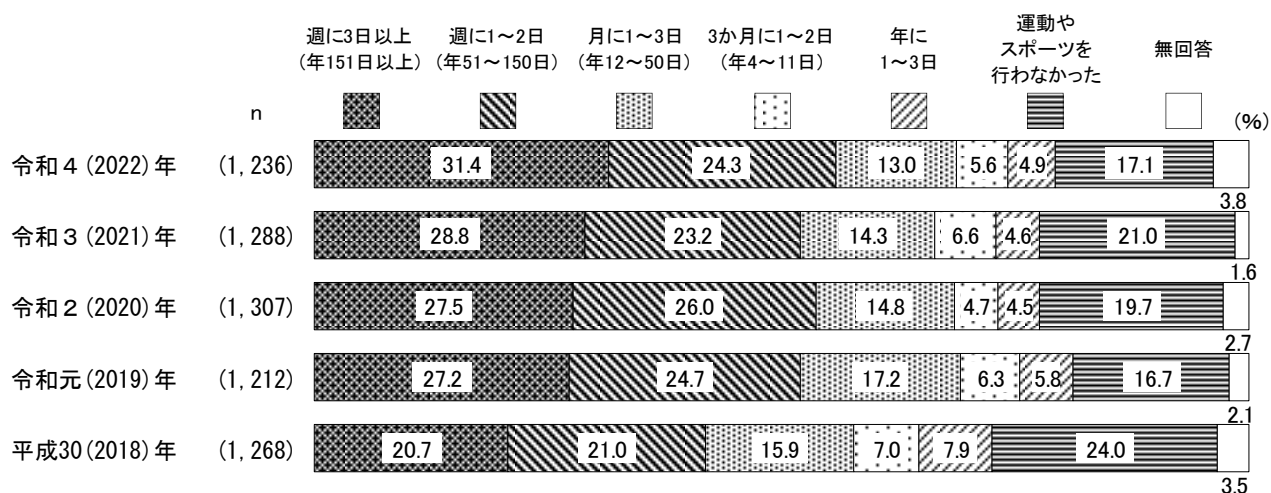
[n=1,236]

1 週に3日以上(年151日以上)	31.4%	4 3か月に1~2日(年4~11日)	5.6%
2 週に1~2日(年51~150日)	24.3%	5 年に1~3日	4.9%
3 月に1~3日(年12~50日)	13.0%	6 運動やスポーツを行わなかった	17.1%
		(無回答)	3.8%



全体で見ると、「週に3日以上(年151日以上)」(31.4%)が3割強で最も高く、次いで「週に1~2日(年51~150日)」(24.3%)、「月に1~3日(年12~50日)」(13.0%)の順となっている。一方、「運動やスポーツを行わなかった」(17.1%)が1割台半ばを超えている。

[過去の調査結果]



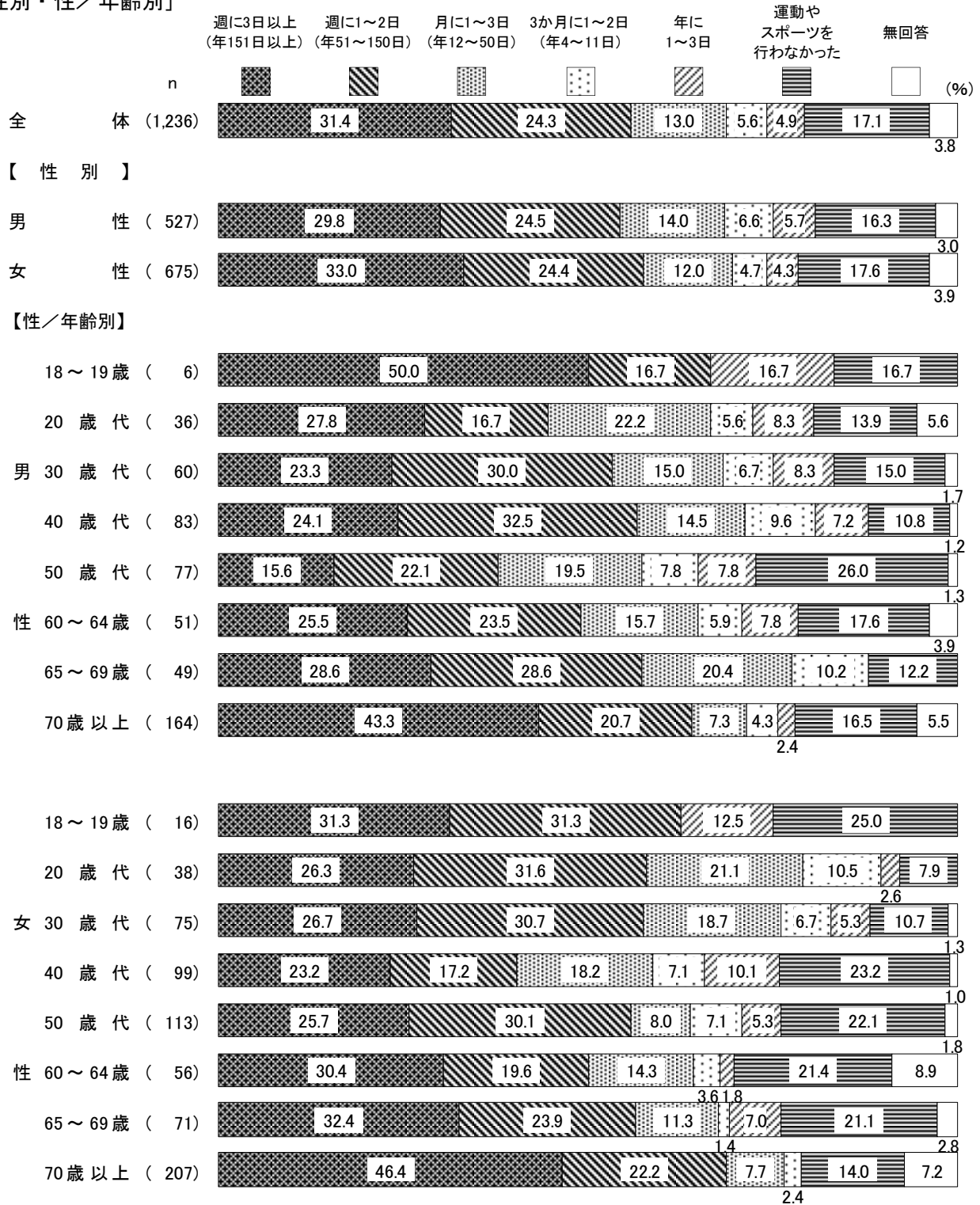
過去の調査結果と比較すると、「週に3日以上(年151日以上)」が前回(令和3(2021)年)より2.6ポイント増加している。

なお、平成30(2018)年調査では、質問文中の「運動やスポーツ」の注釈(※)の文言が異なるため、比率を直接比較することができないことから、参考として示す。

(※) 平成30(2018)年調査の「運動やスポーツ」の注釈は以下のとおりである。

※ 運動やスポーツには、ウォーキング(歩け歩け運動、散歩などを含む)、ジョギング、体操(ラジオ体操、職場体操、美容体操、エアロビクス、縄跳びを含む)、室内運動器具を使ってする運動、ニュースポーツ(ゲートボール、グラウンドゴルフ、インディアカなどを含む)、登山、ゴルフ、釣り、サイクリングなどを含みます。

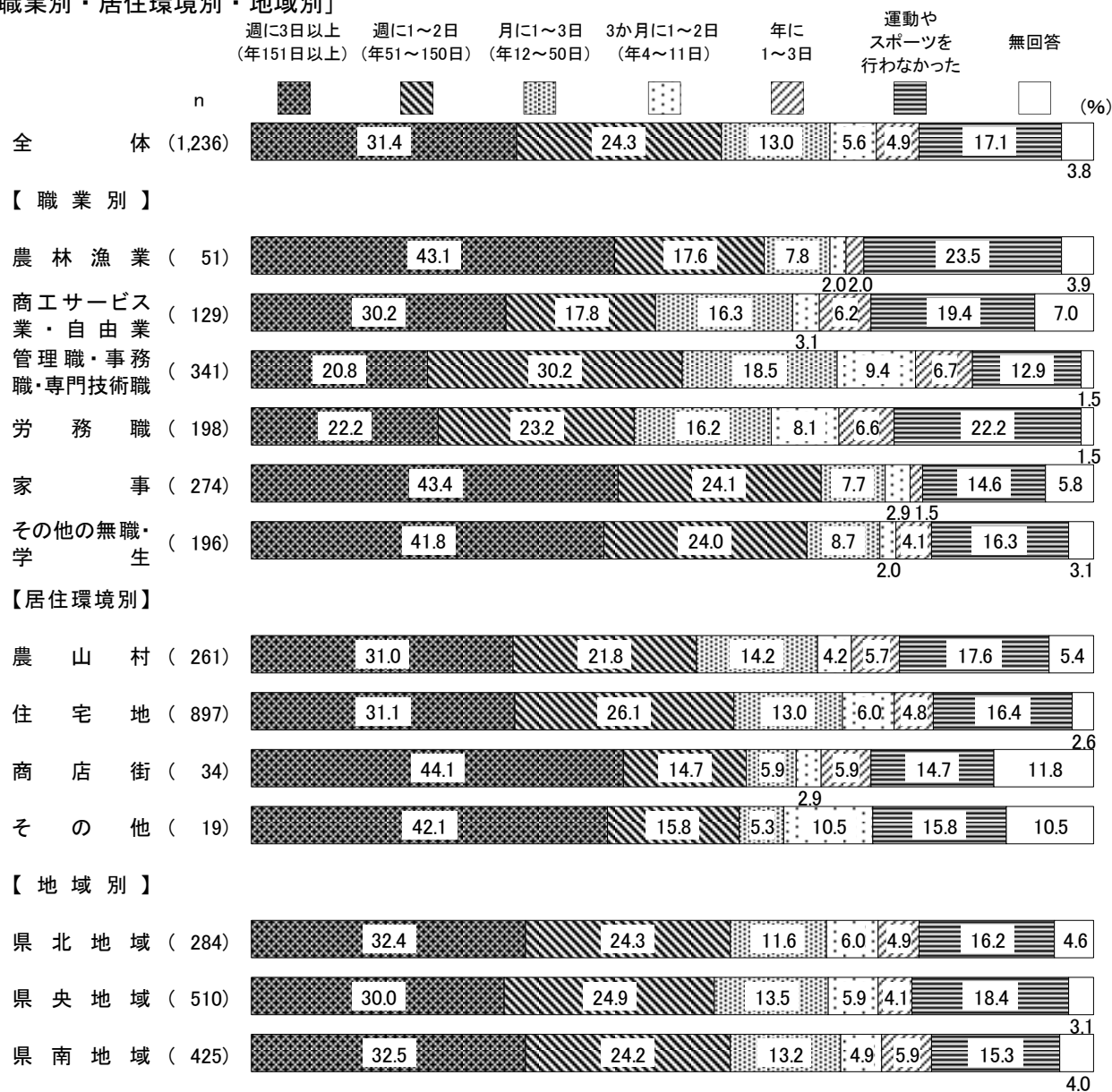
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「週に1~2日（年51~150日）」では〈女性〉（33.0%）が〈男性〉（29.8%）より3.2ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「週3日以上（年151日以上）」では〈女性70歳以上〉が46.4%、〈男性70歳以上〉が43.3%と高くなっている。「運動やスポーツを行わなかった」では〈男性50歳代〉が26.0%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、「週に3日以上（年151日以上）」では〈家事〉が43.4%、〈農林漁業〉が43.1%、〈その他の無職・学生〉が41.8%と高くなっている。

居住環境別でみると、「週に3日以上（年151日以上）」では〈商店街〉が44.1%と高くなっている。

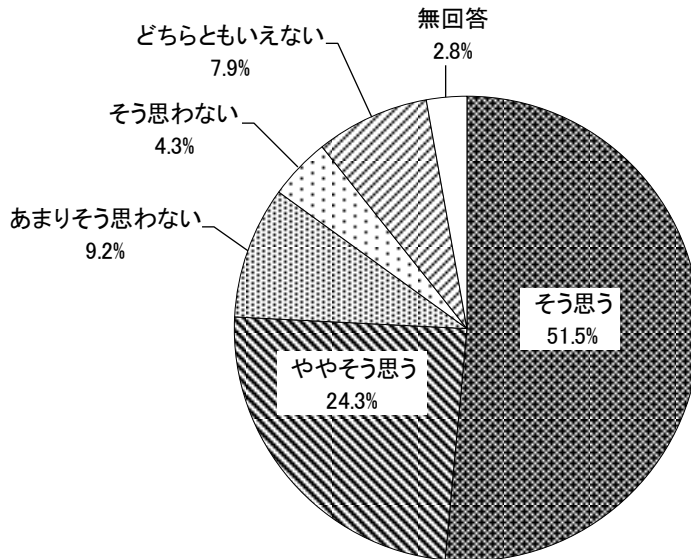
地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(3) 住んでいる地域について

問9 あなたは、住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

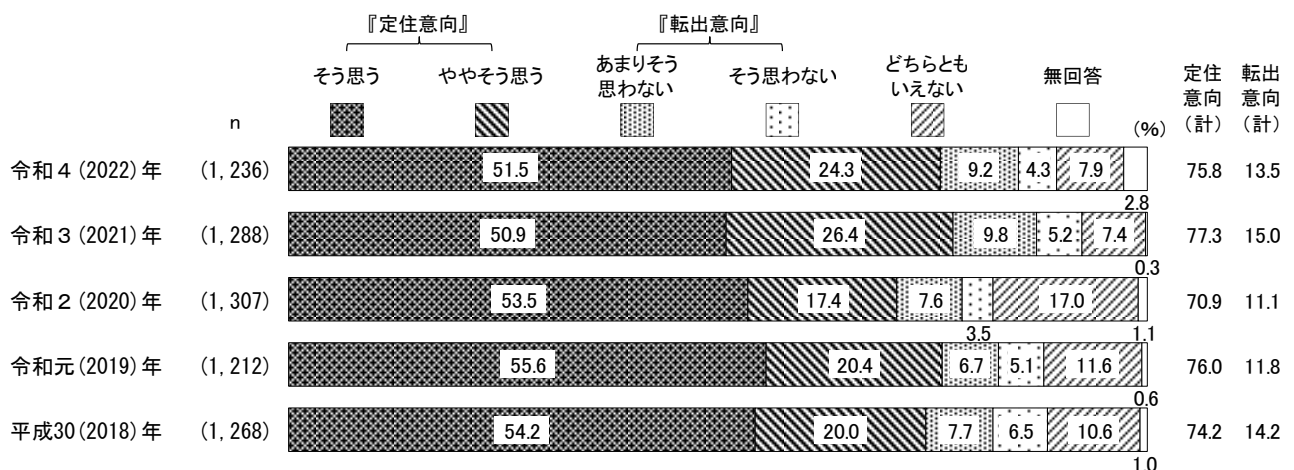
[n=1,236]

1	そう思う	51.5%	4	そう思わない	4.3%
2	ややそう思う	24.3%	5	どちらともいえない	7.9%
3	あまりそう思わない	9.2%	(無回答)		2.8%



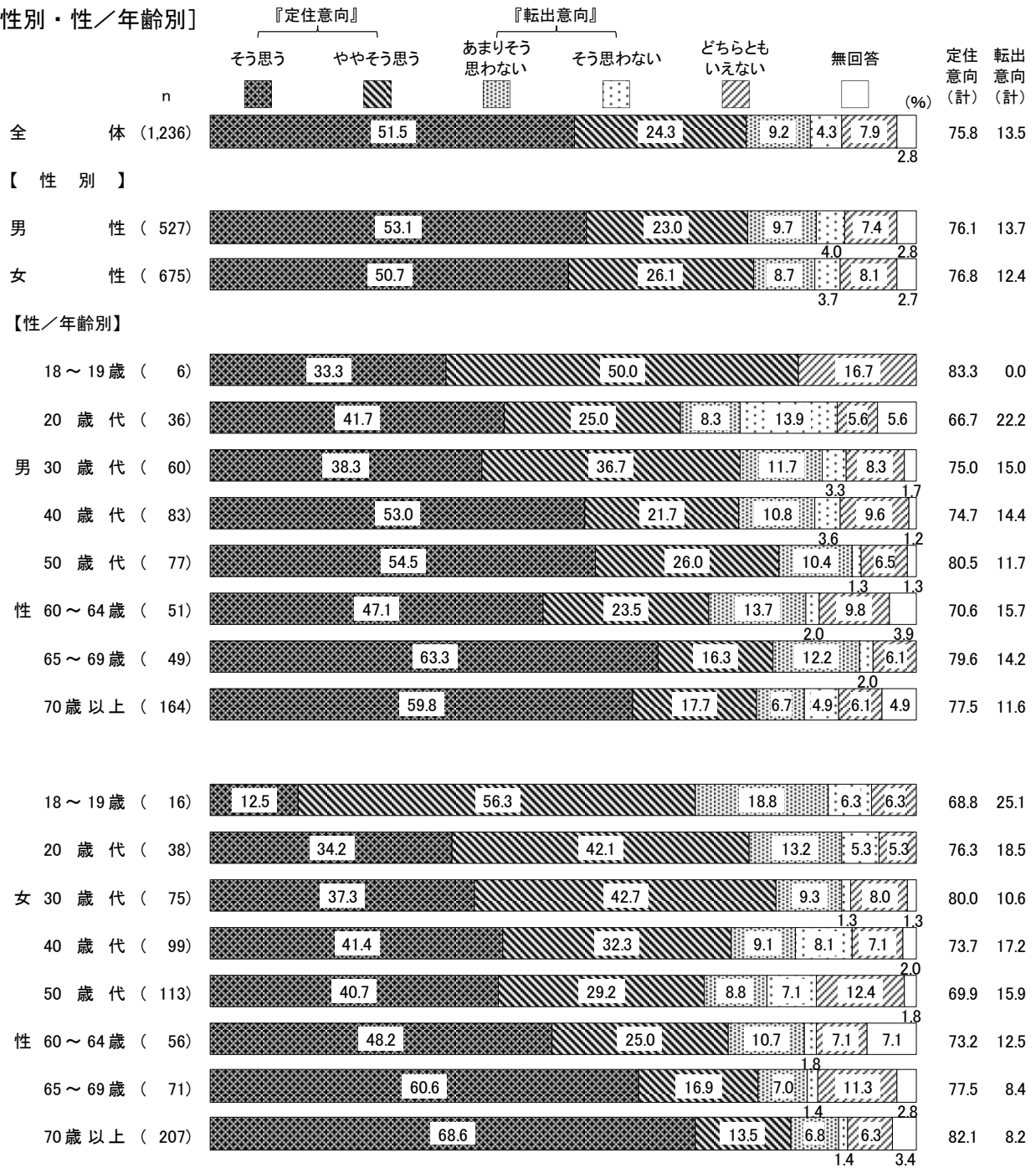
(n=1,236)

全体で見ると、「そう思う」(51.5%)と「ややそう思う」(24.3%)の2つを合わせた『定住意向』(75.8%)が7割台半ばとなっている。一方、「あまりそう思わない」(9.2%)と「そう思わない」(4.3%)の2つを合わせた『転出意向』(13.5%)が1割台半ば近くとなっている。



過去の調査結果と比較すると、前回（令和3(2021)年）と大きな傾向の違いはみられない。

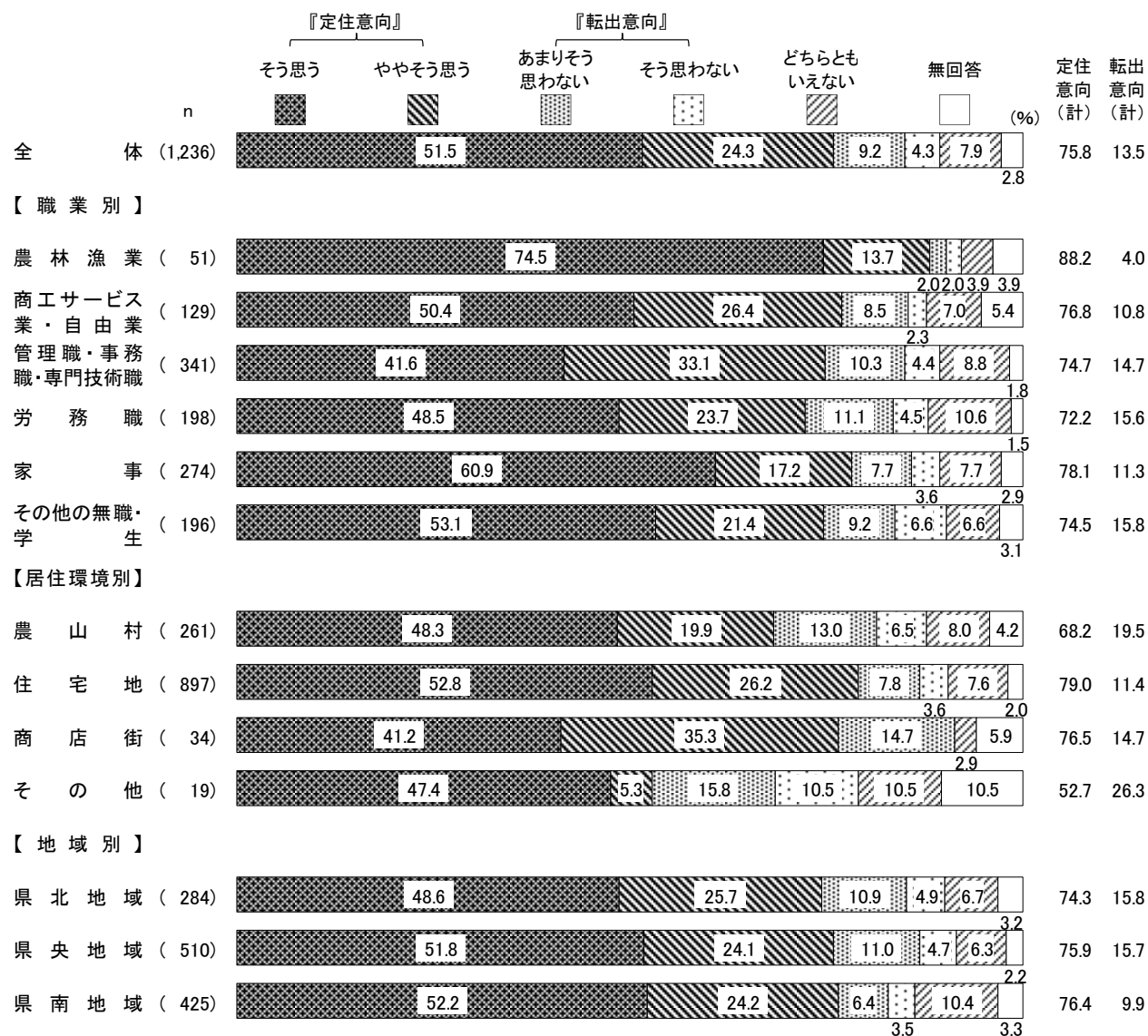
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「そう思う」では〈女性70歳以上〉が68.6%、〈男性65～69歳〉が63.3%と高くなっている。「ややそう思う」では〈女性30歳代〉が42.7%、〈女性20歳代〉が42.1%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、『定住意向』は〈農林漁業〉が88.2%と高くなっている。

居住環境別でみると、『転出意向』では〈農山村〉が19.5%と高くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

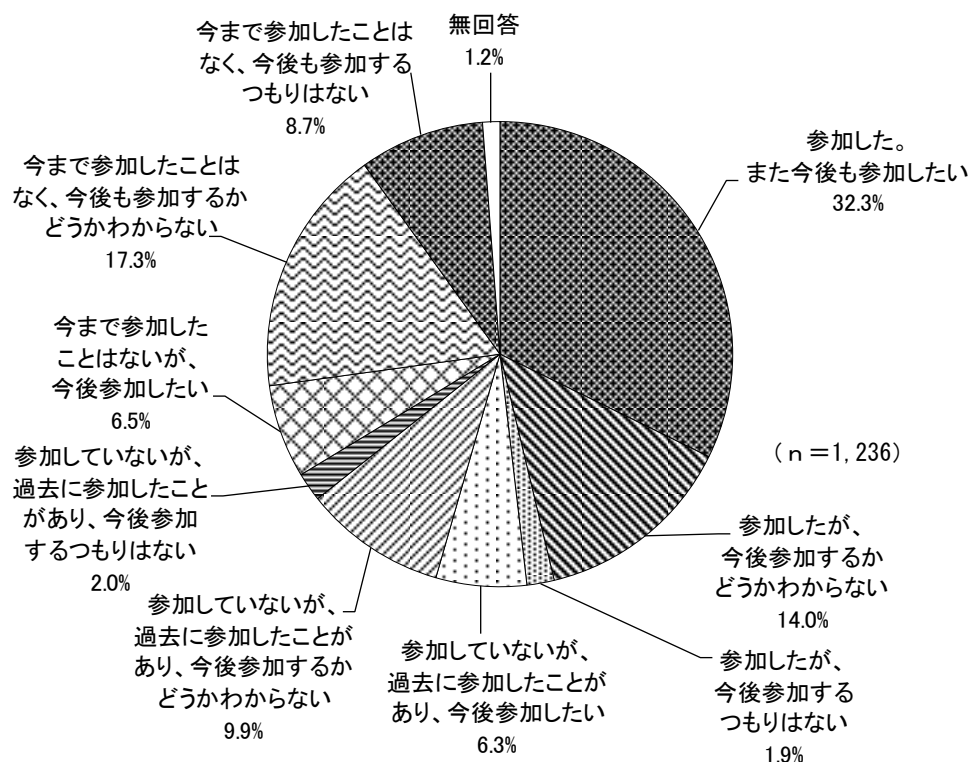
(4) 社会貢献活動について

問10 あなたは、この1年間に社会貢献活動(※)に参加しましたか。また、今後参加したいと思えますか。次の中から1つ選んでください。

※ 社会貢献活動とは、例えば、募金、寄附、プルタブ・エコキャップなどの物品収集、公園清掃などの活動、ボランティアやNPO(非営利活動団体)活動、コミュニティ活動、自治会、育成会などの地域活動などをいいます。

[n=1,236]

1	参加した。また今後も参加したい	32.3%
2	参加したが、今後参加するかどうかわからない	14.0
3	参加したが、今後参加するつもりはない	1.9
4	参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加したい	6.3
5	参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するかどうかわからない	9.9
6	参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するつもりはない	2.0
7	今まで参加したことはないが、今後参加したい	6.5
8	今まで参加したことはなく、今後も参加するかどうかわからない	17.3
9	今まで参加したことはなく、今後も参加するつもりはない	8.7
	(無回答)	1.2

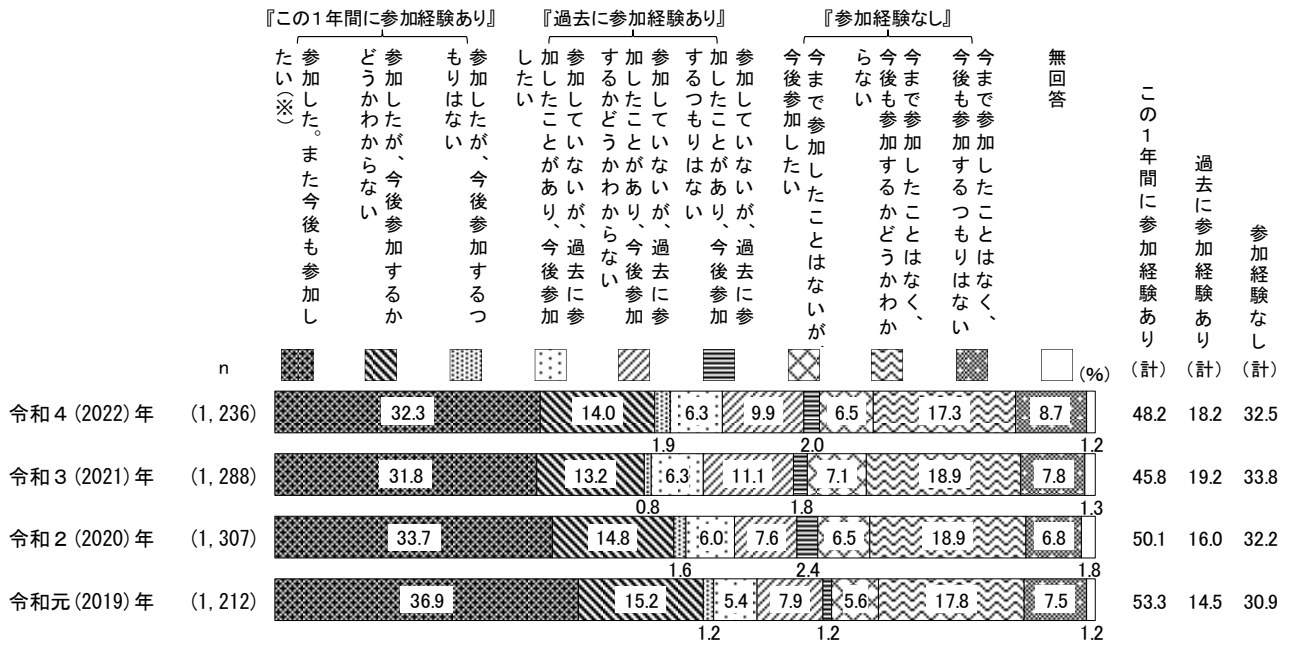


全体でみると、「参加した。また今後も参加したい」(32.3%)と「参加したが、今後参加するかどうかわからない」(14.0%)、「参加したが、今後参加するつもりはない」(1.9%)の3つを合わせた『この1年間に参加経験あり』(48.2%)が5割近くとなっている。

「参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加したい」(6.3%)と「参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するかどうかわからない」(9.9%)、「参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するつもりはない」(2.0%)の3つを合わせた『過去に参加経験あり』(18.2%)が2割近くとなっている。

「今まで参加したことはないが、今後参加したい」(6.5%)と「今まで参加したことはなく、今後も参加するかどうかわからない」(17.3%)、「今まで参加したことはなく、今後も参加するつもりはない」(8.7%)の3つを合わせた『参加経験なし』(32.5%)が3割強となっている。

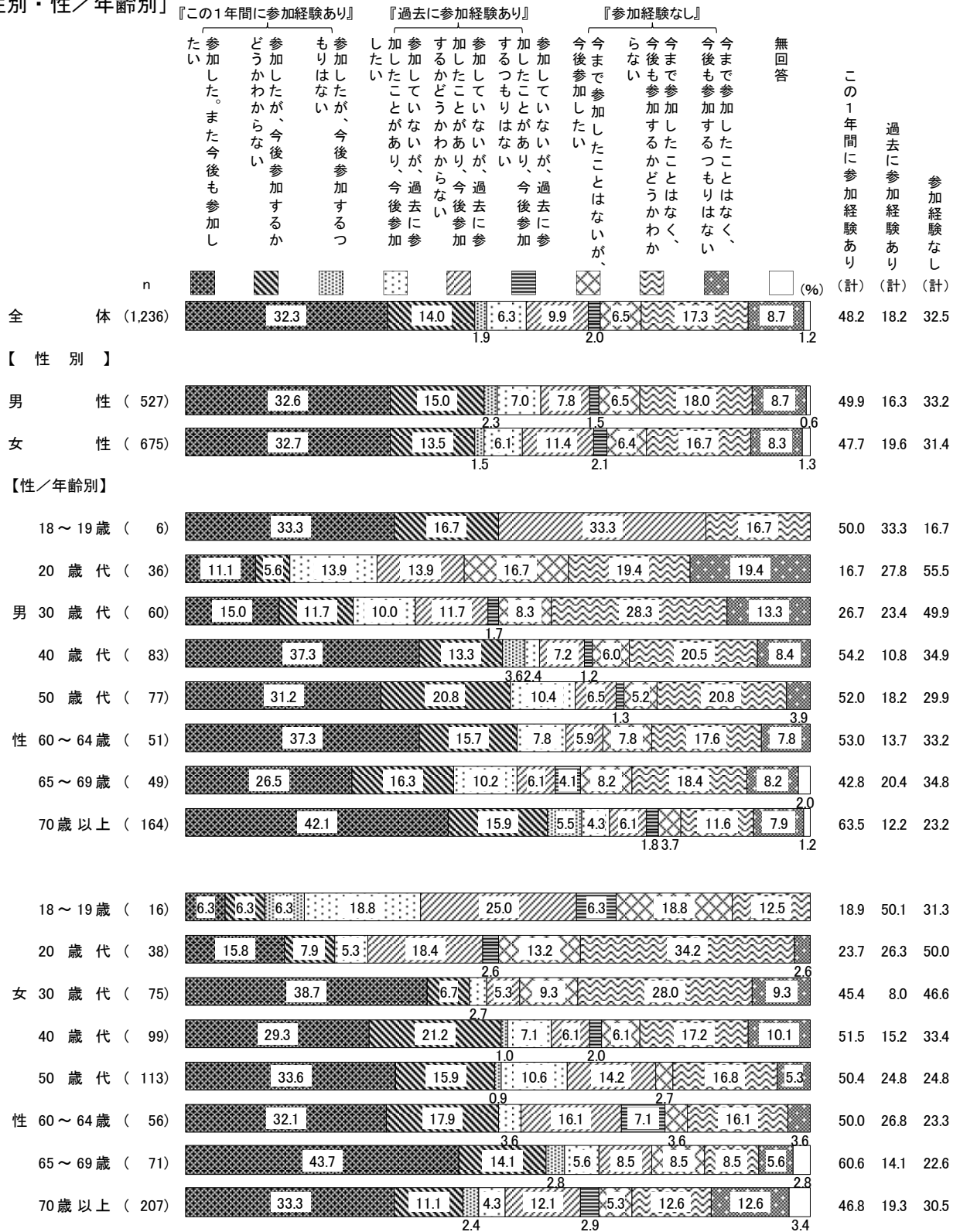
[過去の調査結果]



(※)「参加した。また今後も参加したい」は、令和2(2020)年までは「参加し、今後も参加したい」としていた。

過去の調査結果と比較すると、前回(令和3(2021)年)と大きな傾向の違いはみられない。

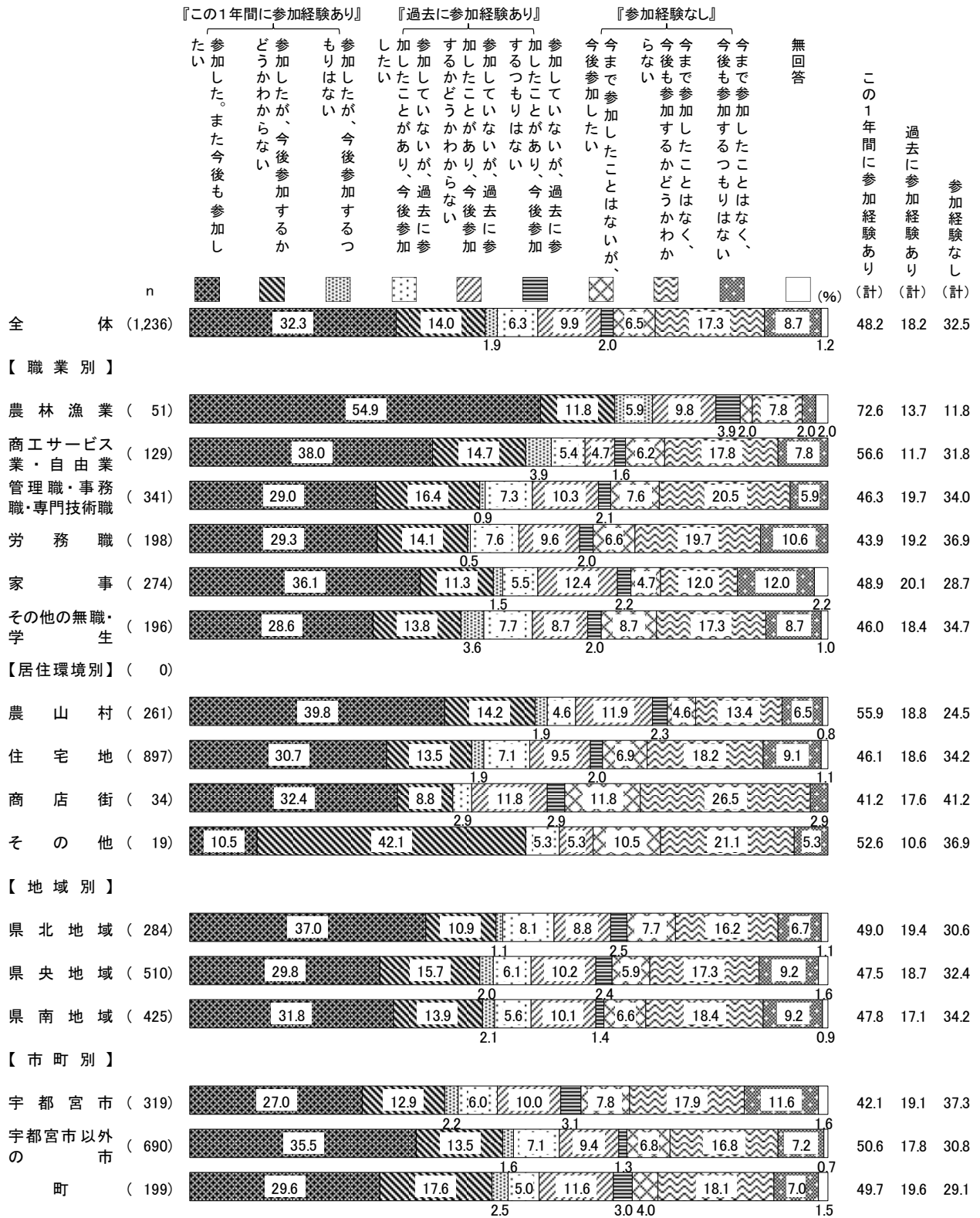
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「参加した。また今後も参加したい」では〈女性65～69歳〉が43.7%、〈男性70歳以上〉が42.1%と高くなっている。『この1年間に参加経験あり』では〈男性70歳以上〉が63.5%、〈女性65～69歳〉が60.6%と高くなっている。

【職業別・居住環境別・地域別・市町別】



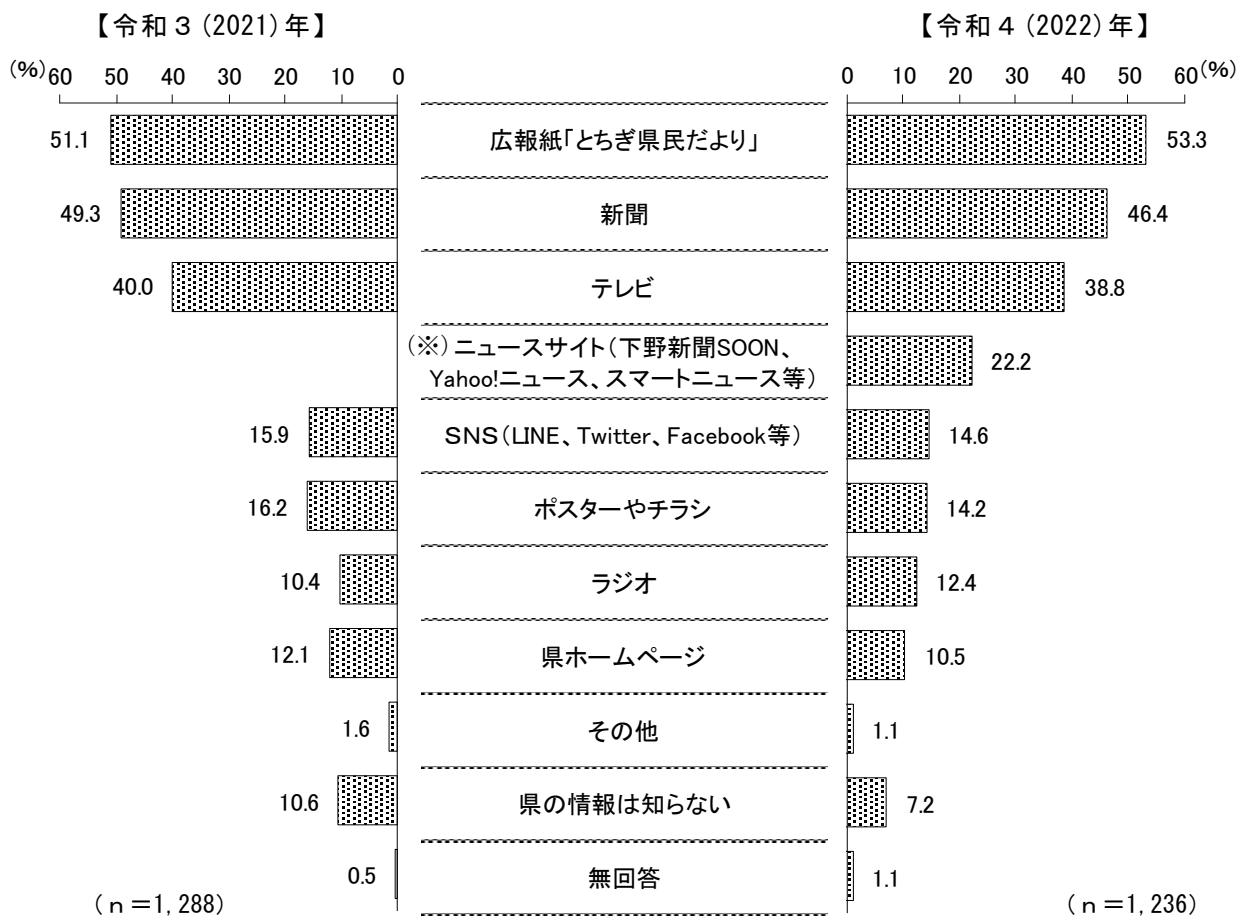
職業別でみると、『この1年間に参加経験あり』では〈農林漁業〉が72.6%と高くなっている。
 居住環境別でみると、『この1年間に参加経験あり』では〈農山村〉が55.9%と高くなっている。
 地域別・市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(5) 県の事業や催し、案内などの情報入手手段

問11 あなたは、県の事業や催し、案内などの情報をどのような方法でお知りになりますか。
次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,236]

1	広報紙「とちぎ県民だより」	53.3%	7	ニュースサイト（下野新聞SOON、Yahoo!ニュース、スマートニュース等）	22.2%
2	テレビ	38.8	8	ポスターやチラシ	14.2
3	ラジオ	12.4	9	その他	1.1
4	県ホームページ	10.5	10	県の情報は知らない	7.2
5	SNS（LINE、Twitter、Facebook等）	14.6			
6	新聞	46.4			
				(無回答)	1.1

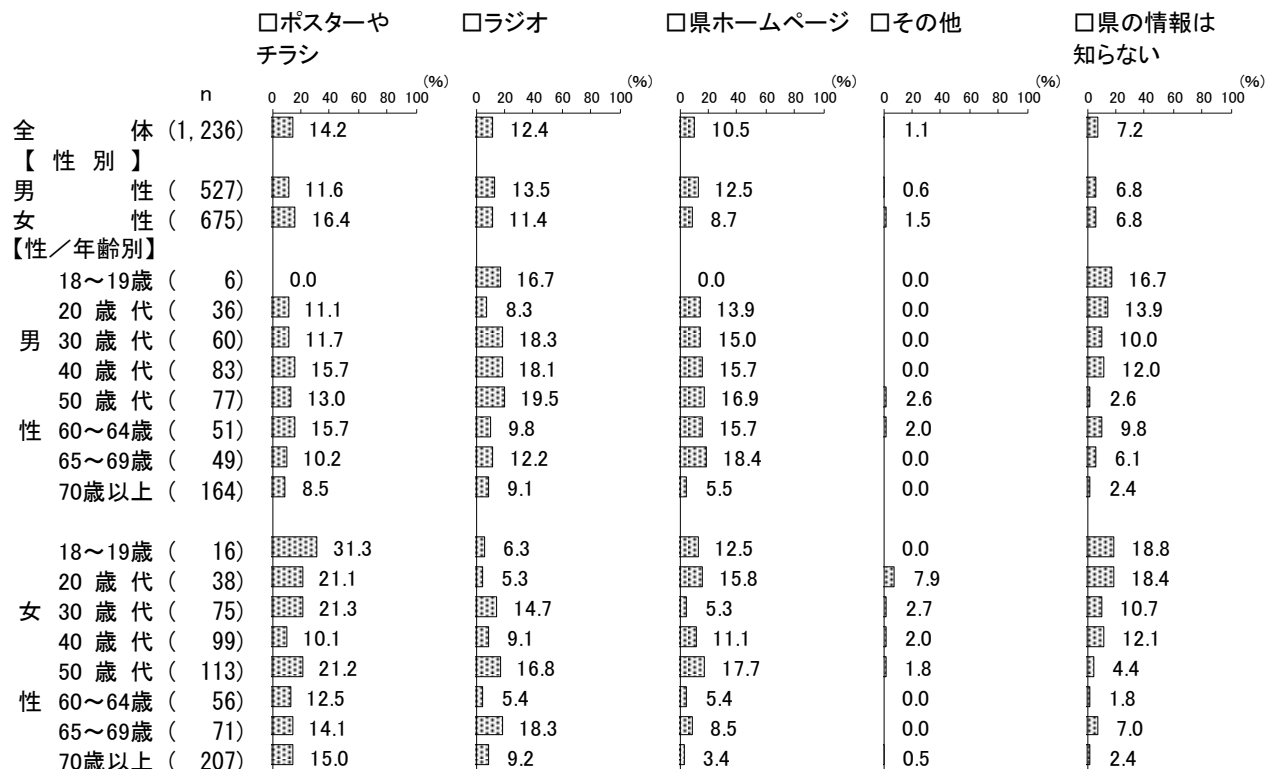
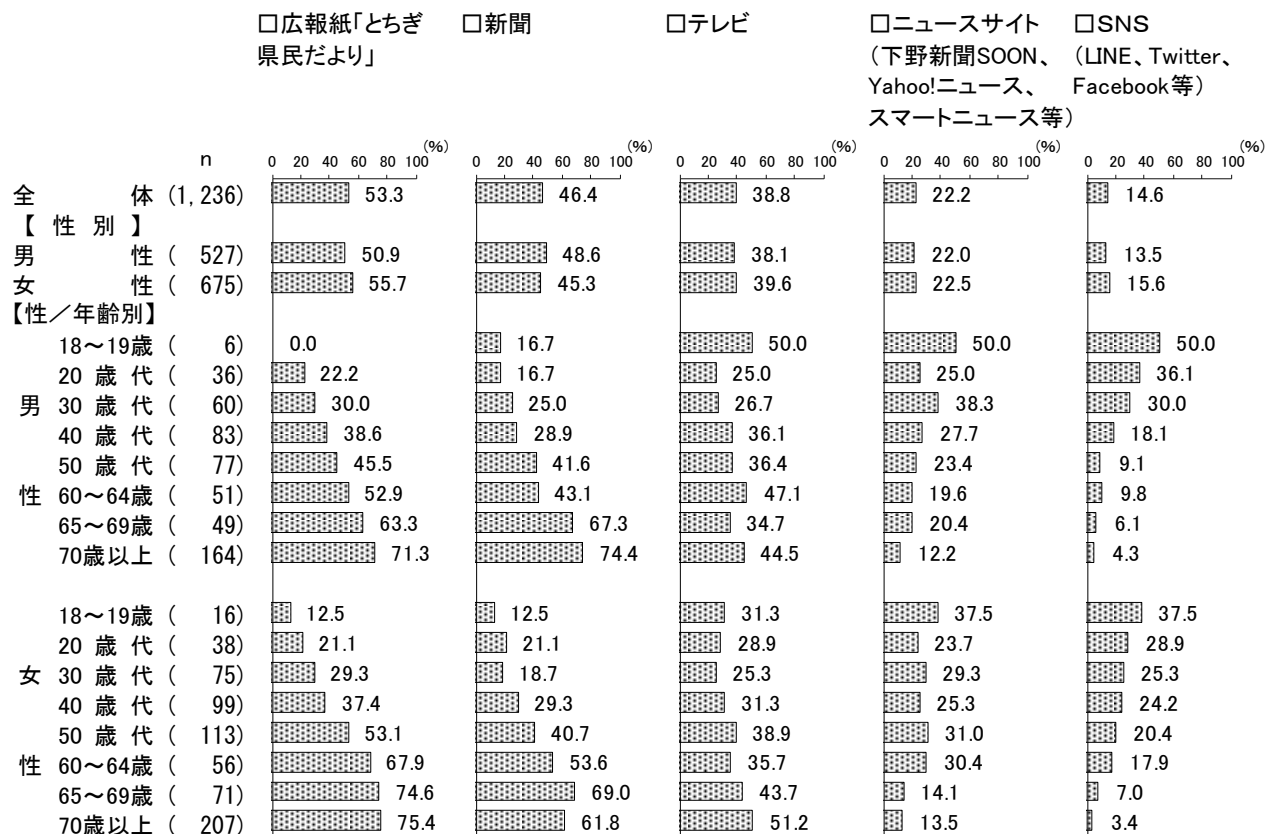


(※)「ニュースサイト（下野新聞SOON、Yahoo!ニュース、スマートニュース等）」は、今回から追加した。

全体で見ると、「広報紙『とちぎ県民だより』」(53.3%)が5割台半ば近くで最も高く、次いで「新聞」(46.4%)、「テレビ」(38.8%)、「ニュースサイト（下野新聞SOON、Yahoo!ニュース、スマートニュース等）」(22.2%)の順となっている。

前回(令和3(2021)年)の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

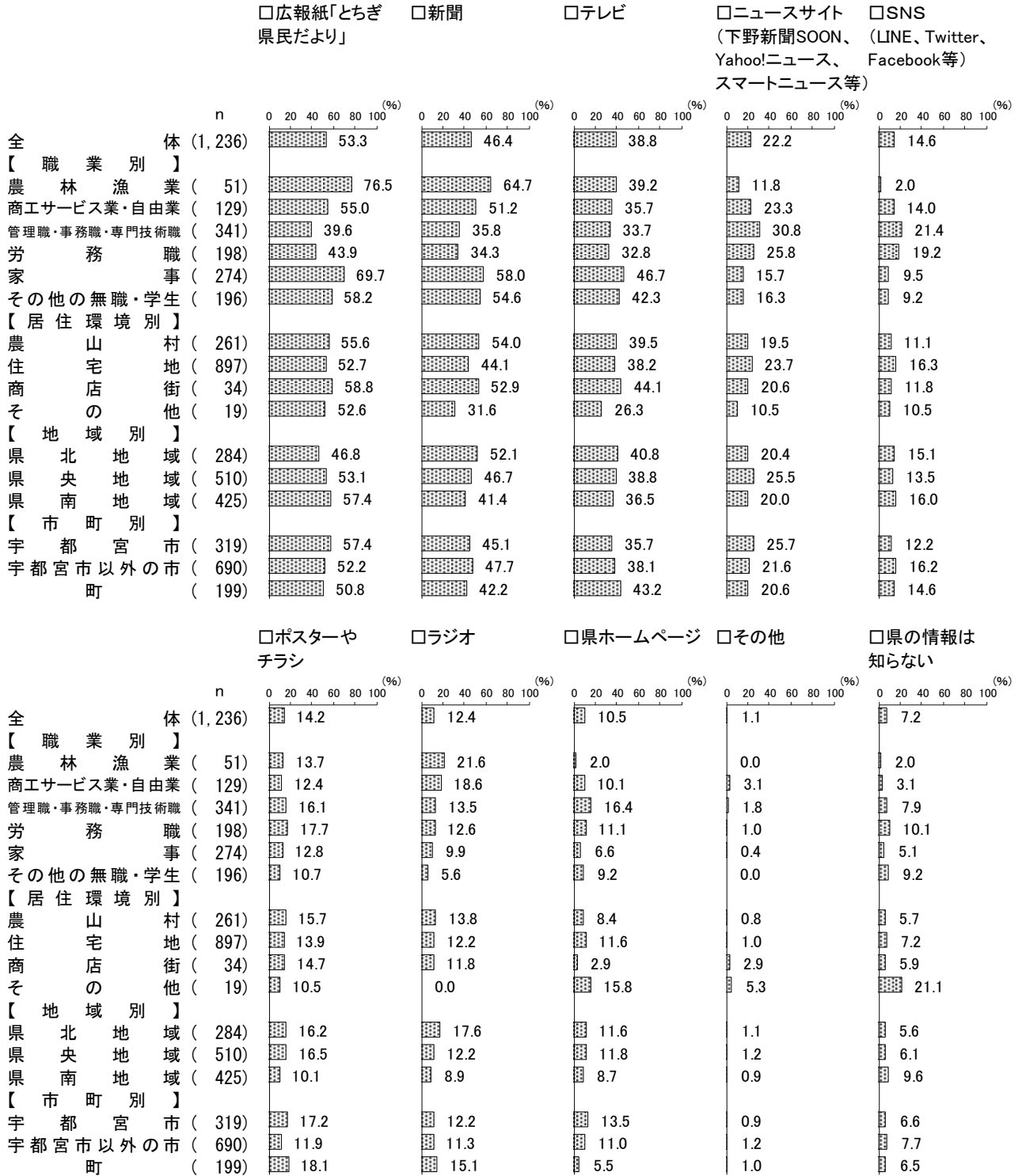
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「広報紙『とちぎ県民だより』」では〈女性〉(55.7%)が〈男性〉(50.9%)より4.8ポイント高くなっている。また、「ポスターやチラシ」では〈女性〉(16.4%)が〈男性〉(11.6%)より4.8ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「広報紙『とちぎ県民だより』」では〈女性70歳以上〉が75.4%、〈女性65～69歳〉が74.6%、〈男性70歳以上〉が71.3%と高くなっている。「新聞」では〈男性70歳以上〉が74.4%と高くなっている。「テレビ」では〈女性70歳以上〉が51.2%と高くなっている。「ニュースサイト(下野新聞SOON、Yahoo!ニュース、スマートニュース等)」では〈男性30歳代〉が38.3%と高くなっている。「SNS(LINE、Twitter、Facebook等)」では〈男性20歳代〉が36.1%、〈男性30歳代〉が30.0%と高くなっている。一方、「県の情報は知らない」では〈女性20歳代〉が18.4%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「広報紙『とちぎ県民だより』」では〈農林漁業〉が76.5%、〈家事〉が69.7%と高くなっている。また、「新聞」では〈農林漁業〉が64.7%、〈家事〉が58.0%と高くなっている。

居住環境別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

地域別でみると、「新聞」では〈県北地域〉が52.1%と高くなっている。また、「ラジオ」では〈県北地域〉が17.6%と高くなっている。

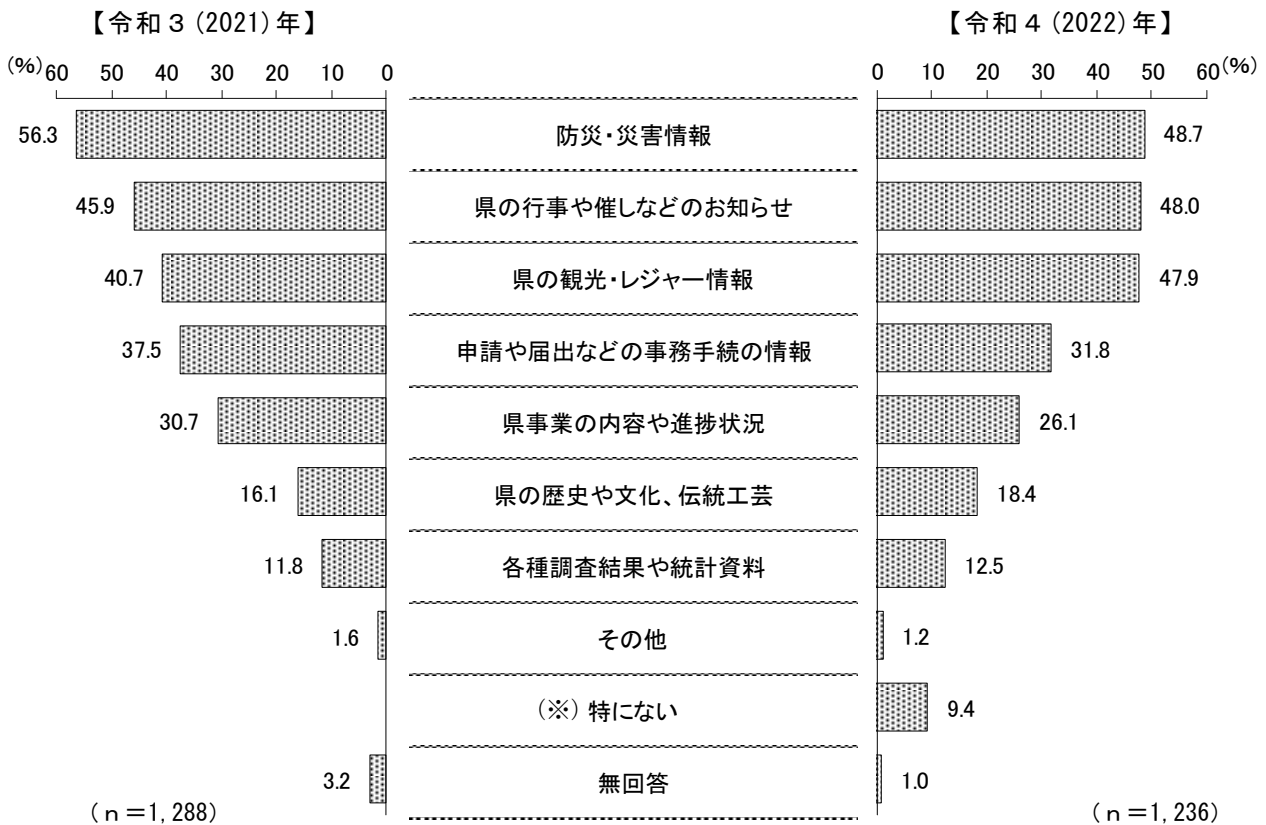
市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(6) 知りたい県政情報

問12 あなたは、県のどのような情報を知りたいですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,236]

1	県事業の内容や進捗状況	26.1%	6	県の観光・レジャー情報	47.9%
2	申請や届出などの事務手続の情報	31.8	7	防災・災害情報	48.7
3	各種調査結果や統計資料	12.5	8	その他	1.2
4	県の行事や催しなどのお知らせ	48.0	9	特にない	9.4
5	県の歴史や文化、伝統工芸	18.4		(無回答)	1.0

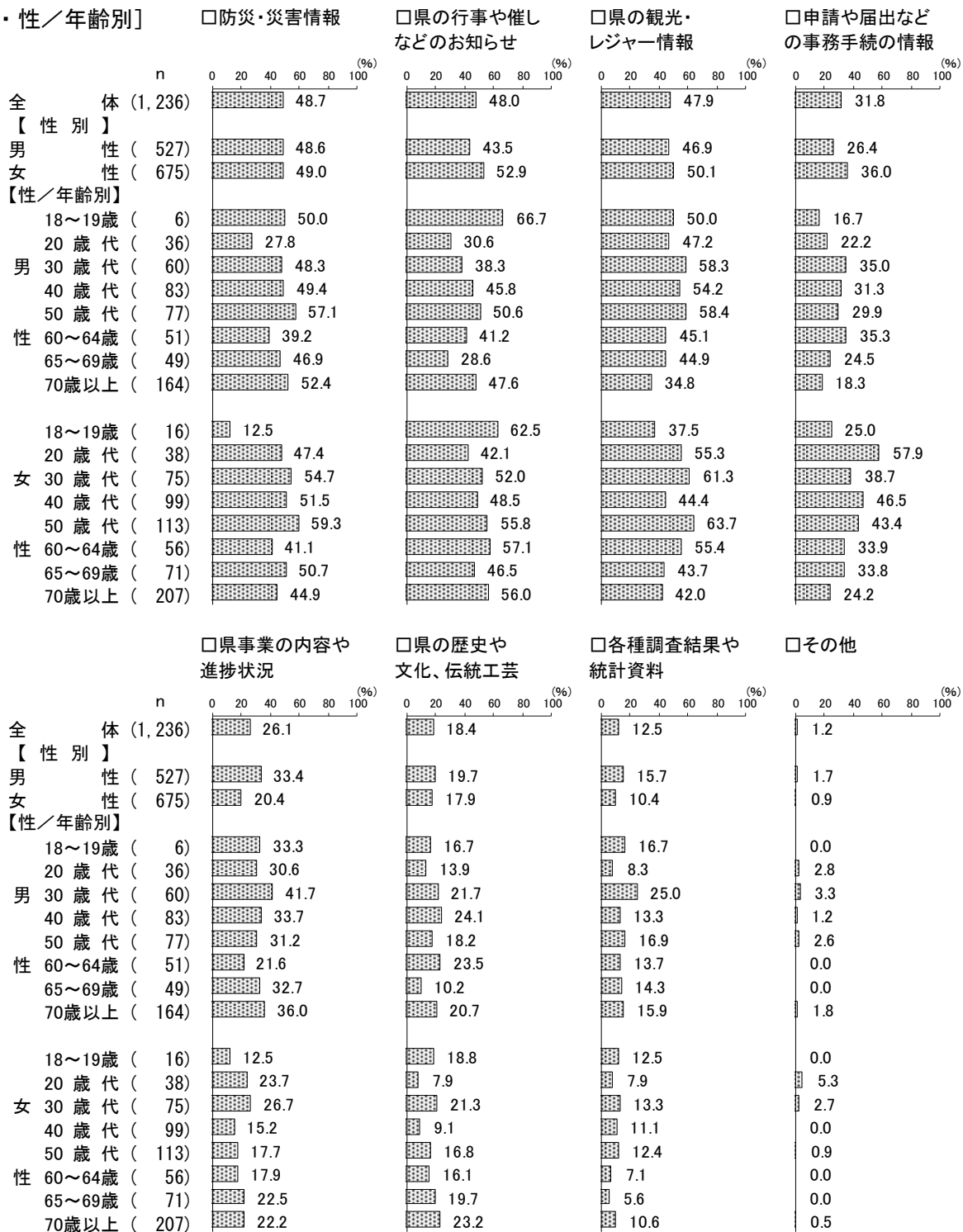


(※)「特にない」は、今回から追加した。

全体で見ると、「防災・災害情報」(48.7%)が5割近くで最も高く、次いで「県の行事や催しなどのお知らせ」(48.0%)、「県の観光・レジャー情報」(47.9%)、「申請や届出などの事務手続の情報」(31.8%)、「県事業の内容や進捗状況」(26.1%)の順となっている。

前回(令和3(2021)年)の調査結果と比較すると、「防災・災害情報」が7.6ポイント減少している。一方、「県の観光・レジャー情報」が7.2ポイント増加している。

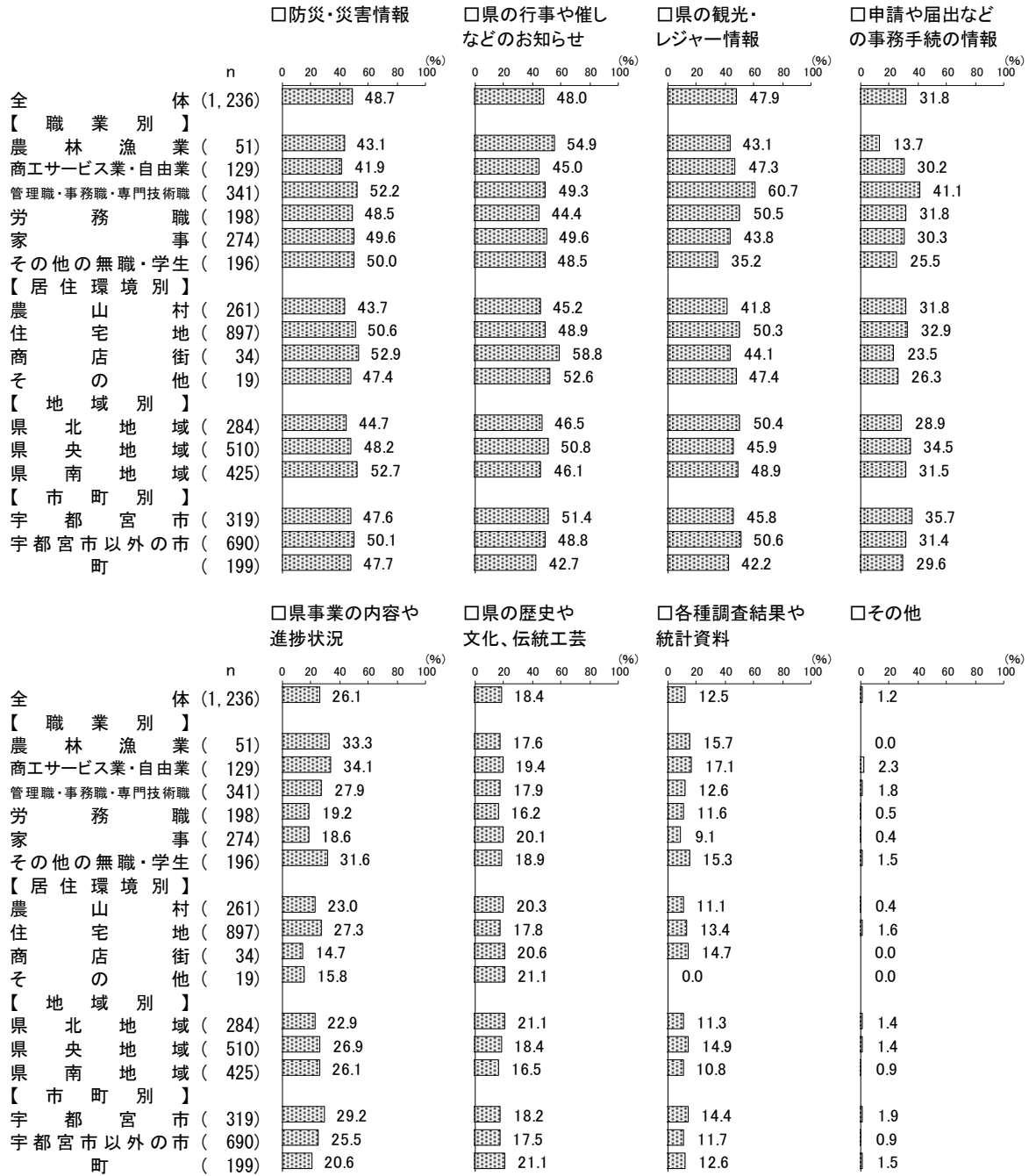
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「県事業の内容や進捗状況」では〈男性〉(33.4%)が〈女性〉(20.4%)より13.0ポイント高くなっている。一方、「申請や届出などの事務手続の情報」では〈女性〉(36.0%)が〈男性〉(26.4%)より9.6ポイント高くなっている。また、「県の行事や催しなどのお知らせ」では〈女性〉(52.9%)が〈男性〉(43.5%)より9.4ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「防災・災害情報」では〈女性50歳代〉が59.3%と高くなっている。「県の観光・レジャー情報」では〈女性50歳代〉が63.7%、〈女性30歳代〉が61.3%と高くなっている。「申請や届出などの事務手続の情報」では〈女性20歳代〉が57.9%と高くなっている。「県事業の内容や進捗状況」では〈男性30歳代〉が41.7%と高くなっている。また、「各種調査結果や統計資料」では〈男性30歳代〉が25.0%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「県の観光・レジャー情報」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が60.7%と高くなっている。また、「申請や届出などの事務手続の情報」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が41.1%と高くなっている。

居住環境別でみると、「県の行事や催しなどのお知らせ」では〈商店街〉が58.8%と高くなっている。地域別・市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。